



緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活動をサポート

大規模災害の発生に備え、円滑な災害対応を行えるように、職員で組織される緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活動計画の策定や災害対応の研修、訓練の計画運営などを中心に行っています。災害発生時には緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣し、被災状況調査などで被災自治体を支援。迅速な応急復旧に向けて現地で活動する隊員の後方支援も行います。

令和元年の台風19号災害では、近畿から多くの隊員を派遣し、活躍しました。今後も、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念されています。災害から住民の生命と財産を守るために、とてもしっかりとした仕事だと感じています。

平成10年度入省
八木 崇充
災害対策マネジメント室
計画係長
土木



迅速な排水作業で 浸水被害を最小限に

災害が発生すると、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の応急対策班の一員として災害現場へすぐさま駆けつけ、災害対策用機械(排水ポンプ車・照明車・対策本部車)などの指揮運用を行っています。

九州地方で発生した令和元年8月豪雨では、浸水した現場で排水作業の指揮を執りました。元の状態がほとんどわからない状況のなか、浸水で被災された方が少しでも早く元の生活に戻れるようにと必死の思いで排水作業に尽力しました。現場の水位が下がって元の道路や田んぼが見えてきたときは、少しはお役に立てたのではないかと安心しました。

平成4年度入省
宮川 昌樹
姫路河川国道事務所
防災課 専門職
機械



南海トラフ巨大地震、台風、集中豪雨、自然の脅威から命と暮らしを守る

近年、台風や集中豪雨によって甚大な被害をもたらされています。また、今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震など、これらの自然の脅威から人々の命と暮らしを守るため、防災・減災対策に取り組んでいます。災害発生時の被害を最小限にとどめるため、防災知識の普及・啓発活動や緊急応急対応などの実践的な訓練も行っています。